

2008.05.21 (水) 18:00

大阪大学医学部附属病院
外来棟 4 階第 1 カンファレンス室

第 39 回未来医療セミナー

血管再生を応用した臓器再生治療

先端医療センター 血管再生研究グループ グループリーダー
東海大学医学部再生医療科学 教授

浅原 孝之 先生

血管内皮前駆細胞は、骨髄由来の血液中に存在する幹細胞で、癌、創傷治療、虚血あるいは子宮、卵巣の血管形成に血管再生の機序で参加する事が判明した。さらに、サイトカイン・増殖因子の影響で血管内皮前駆細胞の分画は骨髄より動員され、血管形成の発達に寄与している事も判明した。

血管内皮前駆細胞の研究は医療応用に大きな可能性を秘めている。講演では、血管再生を応用した臓器再生療法として、血管内皮前駆細胞を移植する技術が開発されているので、その最近の知見を紹介する。

連絡先：未来医療交流会（大阪大学医学部附属病院未来医療センター内）

Tel: 06-6879-6557/6551, Fax:06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

協賛：21 世紀 COE 「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

- Center for Integrated Cell and Tissue Regulation -